

2025 October

Bulletin



2025 年 10 月 1 日 発行
第 30 巻 第 4 号
通巻 325 号



今月の聖句

「信仰もこれと同じです。行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです。」

ヤコブの手紙2章17節（新約聖書）

仏教は開教当初は出家し悟りを目指す厳しい修行道でしたが、大乘仏教で念仏を唱えれば誰でも浄土へ行ける宗教に変わりました。キリスト教も始め律法を守る厳しい道でしたが「信じれば救われる」に変容し、ヤコブはそんな宗教の優柔化（善行軽視）傾向に歯止めをかけようとしたらしい。ただこの手紙の主張は賛否を呼び、正典（聖書への組入）承認が4世紀まで遅れ、さらに千年後「信仰のみ」を唱え宗教改革を先導したルターにも嫌われたそうです。でも「行い」って大事ですよね？

クラブ会長標語

『「Changing」～克服していこう～』

クラブ会長：桶谷 雄一

国際会長主題

“Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」

国際会長：Edward Ong

アジア太平洋地域会長

“Act now with faith and love!” 「信念と愛を持って行動しよう！」

アジア地域会長：田上 正

西日本区理事主題

世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!

西日本区理事：中井 信一

“Let’s enjoy the YYY life together without friends all over the world!! “

京都部部長主題

次のステージを求めて！ Looking for the next stage！

京都部部長：隠塚 功

9 月第一例会

9 月 13 日（土）16:00 ～21:00

ホテルオークラ京都



京都部部会

本9月13日（土）京都部の部会が開催されました。私は仕事の関係で少し遅れての参加でしたが、楽しみが一つありました。部会の懇親会の前に行われる「京都市少年合唱団『響』演奏会」を聞くことです。なかなか普段はお耳にかかる機会が少ない少年合唱団の演奏会です。（これは、私が日程や時間に巡り合わせられないという意味で、合唱団の皆さんは演奏会はされているのですが、）

で、何とかそれに間に合うように到着したのですが、舞台の左右に映る映像を見ているとそこに知ったお顔がありました。ご縁があり、その子が0歳から私が祝い事に撮影をさせてもらっている女の子がいました。昨年も十三参りで同行させてもらって、「早いね！」なんて言っていたところでした。

撮影がダメだったので、写真は撮れませんでした。薄汚れた中年の心には綺麗な物を傾けました。いつぺんに入れるとショックが大き

その後の懇親会では少々飲みが過ぎてしまいました。

京都部が企画した各クラブ会長に交流も面白かったですし、良い会となりました。

京都トウビー 山口 真一

■ オリエンテーション

9月16日 京都YMCAにて宮田ワイズご紹介の寺西様のオリエンテーションを開催しました。

寺西様は既にクラブに関心をもたれている様子で、例会に2回出席をされ、今回のオリエンテーションを受けられる事になりました。

寺西様の諸事情でより少し遅れての開催でしたが無事滞りなく行う事出来ました。

説明後にその場で入会の意思を表明され、我々立ち会い者7名は本当に嬉しく思っております。

場所を変えて懇親会を行い、後から松崎ワイズも駆けつけてくれました。

終始 和やかな雰囲気です。寺西様も楽しまれているように思います。特に桶谷会長と仕事の話、車の話で大いに盛り上がり、お二人で終始話されている様子にクラブに馴染んでいただけた感じが得られました。

私もそうでしたが最初は何をすればいいかわからないと思うので、メンバーみんなでサポートしながらクラブに少しずつ馴染んでもらえればと思います。

今回の寺西様と洪水ワイズご紹介の3名と10月第二例会で入会式を盛大に開催する運びとなります。

メンバーが一気に4人も増えると言う事はすごく嬉しいことです。直前のEMC委員長を始め、メンバーの皆様の行動がようやく実った感じです。

これからもTOBEクラブらしく活動できるように頑張っていきたいと思います。

京都トウビークラブ 渡邊 聡

■ 薪割りワーク 9月7日 青木農園

残暑の厳しい日々が続く中、TOBEクラブ毎年恒例の薪割りワークを実施しました。主な目的は、リトリートセンターへ薪を納品する薪割りワーク、そしてワークを終えてからのバーベキューです。自然の中での活動は、普段の忙しい日常から離れ、仲間との絆を深める絶好の機会となりました。

朝早くから山の中に集まり、まずは薪割りの準備を始めました。初心者も経験者も一緒になって、木を割る作業に取り組みます。安全に注意しながら、力を合わせて薪を割ることで、自然と会話も弾み、協力の大切さを実感しました。木の香りと汗をかきながらの作業は、まさにアウトドアといった感じでした。

作業の合間には、山の静寂と涼しい風を感じながら休憩を取りました。運動後、山中での休憩は、心身ともにリフレッシュされる瞬間です。薪割りワークがひと段落した後は、バーベキューを開始。炭火の火が燃え上がると、肉や野菜の焼ける香りが山中に広がり、皆の食欲をそそりました。

この日の活動を通じて、メンバー同士の協力と絆が一層深まりました。山の中での活動は、日常の喧騒から離れ、心身ともにリフレッシュさせてくれました。残暑の暑さも、自然の中で過ごすことで不思議と和らぎ、豊かな時間を過ごすことができました。これからも自然と触れ合いながら、仲間と協力してさまざまな体験を積み重ねていきたいと思っています。

京都トウビークラブ 西川 恭史

■ ボウリングファンド報告

2025年9月10日(水) 19:00～ラウンドワン河原町店にて、ボウリングファンドを実施しました。また二次会は近くの将月にて行いました。

2ゲーム行ったのですが、その日は腕が、翌日からは足・胸・首が痛くなりました。弱ってます。経験のない箇所まで痛みがきてしまいました。

7～10年ぶりぐらいのボウリングで、1ゲーム目のスコアは99点で100を下回ったのはたぶん10代以来です。腕の可動域が狭くなって過去とは別のフォームになっていたように思います。華麗な？パワーボウリングを披露したかったのですが。ちなみに2回目は153点でホッとしました。

ボウリングがうまくなりたいと思った頃は、ダメな男子に女子の目が冷たくて。とはいえスコアを安定させようと思ってなかなか難しいので、「破壊力だけは負けん」と「修行」をしていました。今はというより相当前からこんな雰囲気はないのですね。

二次会は、お好み焼きを自分でひっくり返したりするスタイルでした。最近ないよなーと思いながら適当にやっていたら、フォローが大変みたいでした。すみません。

当初は参加人数が少なくて開催が危ぶまれる状態だったのですが、何とか開催できました。ありがとうございました。そうそう。やっぱり手軽だし、悔しいし誰かボウリング同好会を結成しません？

京都トウビークラブ 徳永 栄治

9月第二例会 スピーカー例会

9月24日(水) 19:00~21:00
ANAクラウンプラザホテル京都

～地域に根ざした八百屋から学ぶ、フードロス削減の未来～

9月第二例会はゲストスピーカーとして「西喜商店」四代目の近藤貴馬氏をお迎えし、「フードロス」をテーマにした貴重な講演を拝聴した。まだ食べられるのに捨てられてしまう食料があるということは以前聞いたことはあるが、生産者を保護するために設けられた卸売市場の全量買取制度もフードロスの一因になっているという制度的な問題にも初めて気づけました。

講演で特に印象に残ったのは、近藤氏が実践されている「まちのかかりつけ八百屋」というビジネスモデルです。個人客から飲食店、福祉施設まで、地域のお客様一人ひとりと向き合い、多様なニーズに応えるその姿勢は、まさにフードロス問題の核心に迫るものだと感じた。日本の食品ロスの約半分は、スーパーなどでの売れ残りや返品といった「事業系食品ロス」が原因だと聞いたことがあります。しかし、近藤氏のように顧客との信頼関係を築き、必要なものを必要なだけ届ける地域密着型の商いは、この構造的な問題を解決する大きな可能性を秘めていると感じました。

また、全国の生産者との繋がりを活かした産地直送の仕入れや、自身が企画運営に関わるコミュニティキッチン「DAIDOKORO」の存在も、フードロス削減への多角的なアプローチとして非常に興味深かった。流通過程のロスを減らし、規格外品なども含めて食材を無駄なく活用する循環を生み出す、まさに持続可能な社会を目指すSDGsの理念を体現する取り組みとど感じました。

私たち消費者は、食べ物を海外からの輸入に大きく頼りながら、同時に大量の食品ロスを生み出しているという矛盾の中にいると思います。近藤氏の講演には、地域との繋がりの中にこそ、この大きな社会課題を解決するヒントがあることを教えていただきました。今後は日々の買い物や食事に対する意識を変え、自分にできることから行動を起こしたいと強く思う、実りある時間となりました。

京都トゥービークラブ 船越 大祐



「西喜商店」四代目の近藤貴馬氏

くるま 連載 「桶谷会長の相棒たち」

京都トゥービークラブ会長 桶谷 雄一

皆さん、こんにちは！

桶谷ワイズ所有の「相棒たち」を勝手に紹介するコーナーです♪

第3回目は、おけたに電工の No2 元気エース、こと
「トヨタ ハイエース」！

おけたに電工の切り札、ナンバー 2 中代元気（45 歳独身さらぴん）君が操るハイエースは、ただの商用車じゃない！その走りはもはや公道最強、電気屋業界からは「No2 元気エース」と呼ばれてます。荷台には工具とケーブル、そして謎のカップラーメンが常備され、今年の夏からは冷蔵庫まで完備。ルーフキャリアに脚立を積みば、もはや完全無敵です！狭い道を抜ければ「おっとっと！」とカーボンミラーを擦りそうになり、急な坂道ではターボがうなり声をあげて「元気さん、日頃鬱憤をオレにムチ打つなよ！」と言わんばかりの加速で五条坂を駆け上がっています！

社員からは「元気さんとハイエースが現れると仕事が 2 倍以上速く終わる、ただし笑いも 2 倍以上増える」とウワサされ、存在自体がもはやボーナス。今日も中代さんとハイエースは、おけたに電工の笑いと汗を乗せて、京都市内の道を爆走中であります！

また見かけたらパッシングしてやってください（笑）



YMCA NEWS

1 【森のハロウィン!】

日時：10 月 18 日（土）16 時～ 20 時頃

場所：京都 YMCA リトリートセンター

内容：フェイスペインティングや仮装、ミステリー・タイム、ハロウィン・バイキング夕食デザートなど

参加費：大人（中学生以上）3,000 円、小学生 2,000 円

幼児（3 歳・年少以上）1,500 円（税込）

定員：30 家族／グループ

申込：<https://forms.gle/AHi1rH5qSJxWfEjFA>

または 申込二次元コードを読み取ってお申込みください。



例会出席

9 月第 1 例会 12 / 31 名
9 月第 2 例会 22 / 31 名
ゲスト：1 名

ニコニコ

9 月第 1 例会 0 円
9 月第 2 例会 12,000 円
累計 42,000 円

クラブオフィス：京都 YMCA

住所 〒604-8083 京都府京都市中京区 三条通柳馬場東入中之町 2

電話 075-231-4388

会 長	桶谷 雄一
副会長	小幡 弘
	山口 真一
書 記	青木 禎一郎
	宮田 雄輔
会 計	伊東 隆一